

主な要望項目

◆消費税値上げ負担増には、公共料金の引き下げで暮らしの後押しを！

（国保税、介護保険料、水道料金など）

◆済生会栗橋病院の移転後は、廃墟にせず、医療の存続を！

◆保健センターは統廃合をするな！

◆パートナーシップ条例早期制定！

◆通学路の危険ブロック改修を！

◆デマンドタクシー（料金補助）は正規事業として全市内で実施を！

◆防災無線は聞こえやすい対策を！

◆小中学校体育館にエアコン設置を

◆プラスチック使用ゼロの社会構築に向け国に企業指導をもとめよ！

◆理科大学の跡地利用は、再度、市民参画で再構築をはかれ！ など

久喜市に対し240項目の市民要望をとどけました

2020年度



梅田市長に要望書を手渡す党議員団と日本共産党久喜市委員会の一行

市政の転換を！

8月30日、私たちは日頃から伺ってきた240項目の市民要望をまとめ、梅田市長に手渡しました。その後、参加者は梅田市長と懇談をしました。

10月からの消費税の増税という大きな国民負担増が押し寄せます。こんな時だからこそ市に対し、「国政の荒波から市民の暮らしを守る防波堤となれ」という切実な期待が寄せられているのです。

合併後10年間は、田中市政で公共料金の値上げをはじめ支所の縮小や職員削減が進み、市民サービスの低下が行われました。市民は梅田市長に対し市民に寄り添った転換を望んでいるのです。

予算要望書を提出しました！

★「会計年度任用職員制度」創設

（主旨と内容）解説

法改正に伴い、久喜市も現行の特別職非常勤職員及び臨時的任用職員を再編します。「会計年度任用職員」とは

一年を超えない範囲内で任用される一般職公務員です。その内、専門的な知識経験等を有し、労働者性の低い職に従事する産業医等は今まで通り特別職非常勤職員です。

また労働者性の高い保険事業推進員等は会計年度任用職員となり、パートタイム職員（1週間の勤務時間が38時間45分より短い）とフルタイム職員（1週間の勤務時間が38時間45分）に分かれます。報酬は計算方法が異なりますが、フルタイム職員は現行の臨時的任用職員及び特別職非常勤職員の年額を下回らないとされています。

フルタイムの職員は新たに退職手当が加わります。更に、休暇・休業、社会保険等も盛り込まれています。地方公務員法の服務規定が適用されます。採用は面接、書類選考等で行い年齢や性別に係りなく均等な機会を与えるとしています。

どうなる？区長制度

これまで特別職非常勤職員としての区長及び区長代理は、専門的な職ではないとして特別職非常勤職員ではなく、市政への協力者という位置付けになります。（交通指導員も）

区長としての職務内容に変更ありませんが、報酬が報酬金に、補償が「公務災害」の適用から民間の損害保険となります。

どう見る？新制度

課題や問題は？

これまでの臨時職員は、正職員と同じ仕事をしているのに、「格差」がありました。

しかし今回の法改正と久喜市の提案は、上記のように手当や休暇などで大きな改善が見られます。しかし同時に、「昇給は頭打ち」で「継続雇用は3年まで」その後採用をするかどうか試験で決める、となると

◇「雇止めや格差を法で固定化することになるのではないのか？」◇「正職員から非正規への置き換えが進むのでは？」という心配の声も聞こえます。同一労働・同一賃金で正職員化を進めることが重要です。



エアコン付きの体育館を。他にも移動式の安価な機種もある。国の補助も付く

渡辺まさよ

9月9日（月）4番目



1 久喜南中学校のプール改修を早急に行うべき

久喜南中学校では、今年の夏プール学習がひどい環境から出来なかった。来年度にはできるように改修を急ぐ必要がある。

2 理科大跡地の大型物流センターの

搬入車両による騒音被害に対応を

前議会で騒音被害の改善を要求したが、対応・改善はどうなっているのか問います。

3 東京理科大跡地への給食センター建設は

地域住民の声・要求を十分聞くべき

地元説明会で出された住民要求には真摯に応じて欲しい。また、今からでも給食センターは建設せず、自交方式給食にすべきだ。

4 5月に起きた梨の降雹被害対策は

防雹ネットの補助等の経営対策の検討結果はどうなったか。

5 菖蒲運動公園に木陰となる植樹を

菖蒲運動公園が全面使用開始となるが、木陰の植樹、トイレの増設、利用できるスポーツの拡大要望に応じて欲しいが。

6 北中曽根地市道久喜 1182, 1040 号線の舗装整備を早急に

舗装整備が進む状態で地域住民の方が対応していたのに、途中中断された現状で2年も待たなければならない箇所がある。早急に予算をつけるべき。

7 さくら通り横の備前前堀川の環境整備を

備前前堀川の浚渫と、架かる橋の拡幅をしてほしいが。

平間ますみ

9月9日（月）6番目



1 住宅リフォーム助成制度創設を

毎年要望している事業ですが、市民の要望に背を向ける回答が続いています。業界団体からも強い要望として出されており、地域経済の活性化に必ず結びつく制度の創設に向け要望します。

2 小中学校危険ブロック塀問題について

新聞報道で全国の国公私立の小中学校、高校、幼稚園のうち、5805校で安全性に問題のあるブロック塀が確認されたとありました。久喜市の状況と対応を質問します。

3 市内危険ブロック塀問題について

市道の危険ブロック個所の状況と対応を聞きます。

4 小中学校体育館に冷房機の設置を

最近の気象変動に伴う気温上昇は、われわれの想像をはるかに超えた状況で、教育現場においては体育などの授業にも影響が出ています。

「学校施設環境改善交付金」や「緊急防災・減災事業債」を活用しての冷房機設置を求めます。

切実な要望 実現めざして市政に届けます

4人全員が一般質問を通告しました！

石田としはる

9月10日（火）2番目



1 済生会栗橋病院移転確定。現在地の医療確保は

現在の病棟施設を「廃墟」してはならない。栗橋市民の切実な願い受け、済生会栗橋病院の意向など質問します。

2 旧久喜市で実施中のデマンドタクシー 実証実験の検証は

実験は公共交通を総合的に検討することを目的としています。中間報告で「有効性が確認できた」との報告が出る予定です。「デマンドタクシー」を継続するのか、菖蒲・栗橋等のデマンド交通(くきまる)はどうなるのか。利便性向上を求めます。

3 液状化対策推進事業は最終的段階。進捗や対策の効果は

モニタリングから確認できる、液状化防止効果の検証結果はどうか。地盤沈下が更に進む中「橋梁」部分は段差が極端に高く修復を求めます。

4 佐間・八甫線につながる佐間浄水場前道路の整備は

砂利で拡幅した部分の凸凹がひどい。緊急性をもって整備すべき。旧国道4号に接続する手前も道路が狭い。拡幅を求めます。

5 参議院選挙の投票率が50%を割った。投票率向上を

投票したくともできない「投票弱者」に対し投票所までの「足」の確保を保障すること。デマンド交通の活用など含め、主催者の権利行使の保障を求め質問します。

6 再生エネルギーを販売する「地域新電力会社」の設立を。

2009年11月に始まった、太陽光発電の電力を買い取る義務制度が10年目を向かえ順次終了となる。地元の発電を買い取り地元事業者へ販売する「地域新電力会社」設立を久喜市でも。

杉野おさむ

9月9日（月）3番目



1 桜田2丁目テニスコートのフェンス整備を

テニスのプレー中、ボールが飛び出して民家に飛び込んできます。住民が安心して生活できるようフェンスの整備実現を。

2 大雨冠水対策構築を早急に

局所豪雨の際、市内40か所以上で道路冠水や床下浸水の被害が深刻ですが、改善計画がほとんどできていません。特に市の下流域の幸手市、杉戸町などの複数の自治体と解決策(遊水池の整備など)を協議すべきと提案してきました。早急に対策を。

3 鷲宮神社の鳥居再建に向けて行政の役割を果たせ

鷲宮地域にとっての神社の存在は大きな意味があります。街全体の「シンボル」です。その大鳥居が崩壊し、らき☆すたのファンもがっかりです。市は「地域の活性化」のため、関係団体を主導して「市ができる支援」を検討すべきです。

4 児童相談所を久喜市設置し、体制強化を

6月に児童虐待防止の対策強化をはかるために法が改正されました。福祉担当者や児童相談所の職員に対し、「これは虐待でなく、しつこい」という加害者。市は「どんな暴力も認めない」毅然とした態度と、十分な体制が必要です。そのために「正当な体罰などない」というしっかりした考えが求められます。久喜市単独で、あるいは近隣市と共同して児童相談所を設置することを提案します。